

「札幌市障害福祉施策に関するアンケート調査 回答用紙」

お名前 ほせはる 孝子 ^{まこ} 記入日 3月19日

所属政党 民主党 選挙区 中央2

<アンケート回答記入欄>

(Q1～Q9は対応する設問の選択肢番号(例:①)を中欄に、その回答理由または、「その他」の回答内容は、右欄にご記入ください。)

Q1.	①	
Q2.	①	生活ニーズに合わせたサービスを提供する=これは「自立と共生」の内幕が具現化できると考えます。
Q3.	①	憲法に明示されている「健康で文化的な生活」を営む上においても、充分な負担にすべきと考えます。
Q4.	①	共生の理念からして、障がい者は積極的に地域に生きるべき。その点からも財政的支援は当然です。
Q5.	①	バリアフリー充実の観点から、公共施設の点検・整備・充実は緊急の課題です。
Q6.	①	ボウリング場などを含めた支援体制を早急に具現化・充実させるべきと考えます。
Q7.	①	
Q8.	①	
Q9.	②	障がい者団体を軸として審議会の議論をふるい、制度化を前提とし検討を急ぐ必要あり。
Q10.		国が押し進めている障がい者に対する政策は、「障がい者自立支援法」に見られるように「安上がり」を目指しただけのもので、福祉政策にはなっていません。負担の見直しも本質的には求められていません。札幌市は国に「割合負担の軽減」と具申するにも、市独自の支援策を講ずる必要があります。